



コミュニティ・スクールだより

～地域の人々でつくる、彦根の未来～

彦根市教育委員会事務局 生涯学習課

第2号 令和7年7月28日

第2回学校運営協議会の様子をお知らせします！

各学校では、5月から第2回学校運営協議会が開催されています。年間4回以上の協議会で熟議を重ねていきます。今年度当課から訪問している協議会の様子をお伝えします。



6月12日(木) 平田小学校

この日は、学習参観後に引渡し訓練が実施され、その後、学校運営協議会が開催されました。参観された委員からは、「ほとんどの保護者が訓練に参加していて、心強く思った。万が一のことを想定して、これからも続けてほしい。」といった意見が出ました。熟議では、学校と地域とが協働できる活動について話し合われました。「それなら、私が〇〇しますよ。」などと、主体的な意見が多く出されていました。実際の協働活動につながっていくのが楽しみです。



6月27日(金) 稲枝中学校

昨年度の協議会で「生徒自身の声を聞くことが大切ではないか」という意見から、今年度の第2回協議会には生徒会役員6名が参加しました。また稲枝商工会会長も特別参加され、稲枝地域の将来に向けての熟議が繰り広げられました。町内行事の在り方やSNSを活用した地域の情報発信の方法など、中学生が望むことや地域の大人ができることなど意見をそれぞれ出し合い、今後に向けての意義ある意見交流の場となりました。



7月7日(月)
中央中学校

参観後、始まった会議では、開会あいさつで「昨年度からの『ゆるっとおしゃべり』を大事にして取組を進め、大人だけでなく生徒も一緒に考えていく学校運営協議会にしたい。」と会長が話されました。『ゆるっとおしゃべり』の2学期の実施に向け、当日のテーマとなる映画「小学校～それは小さな社会～」を一部視聴し、『ゆるっとおしゃべり』の形態で会議も進みました。また、終了後は、学校の様子を知る一環として給食の試食がありました。

※『ゆるっとおしゃべり』…座談会のような話しやすい場を設定した会議の形態。



7月9日(水) 鳥居本学園

鳥居本小学校・鳥居本中学校の子どもたちの様子を話し合い、学園の強みを改めて共有しました。鳥居本だからこそできる活動を通して、「児童・生徒が主役になれる場面がたくさんある。」という意見があり、「学園のよさを多くの人に知ってもらうことで、鳥居本学園があるから、鳥居本に住みたいという学園・地域にしたい。」という意見が出ました。今年度は中学生の地域貢献活動の充実と保護者・地域の方のボランティアの拡大も目指します。

「熟議」とは？「熟議」は、多様な立場や意見を持つ人々が、「熟慮」と「議論」を重ねながら話し合い、よりよい結論を導き出す対話のあり方です。対立を避けずに向き合い、相互理解を深めつつ合意形成を目指します。学校運営協議会においても、**保護者・地域・教職員が熟議を通じて学校の課題や方針を共有し、協働でより良い学校づくりを進めていくことが重要です。**



「第1回彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員会」(WEB会議)を開催しました！

彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員会は、「幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進すること」を目的として設置されています。委員は、7つの中学校ブロックの代表の地域学校協働活動推進員、小・中学校の管理職、教育委員会事務局職員計20名で組織されています。

6月24日の第1回実行委員会では、17名の委員の方々にご参加いただき事務局から「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について」説明した後、各校区の地域学校協働活動の取組計画の交流、グループ別交流等を行いました。



【地域学校協働活動推進員】

昨年度末チラシを作成して、学校の活動に協力してもらえる方を募集しました。多くの方が登録してくださり、修繕や図書室の開館の補助、学習の技術補助などそれぞれができることに参加してくださっています。以前から学校と協働して行ってきたことも継続しているので、地域学校協働活動の広がりを感じています。

大人の意見だけではなく、子どもの総意について大人と一緒に考えるために、生徒総会で話し合ったことを生徒会の代表が学校運営協議会で代表して話すという形にしました。これまでは意見交流会という形での参加でしたが、今年度は本格的に学校運営協議会に参加し、話し合うということにつながりました。



【中学校管理職】

各委員の皆様から貴重なご意見をいただき、彦根市における「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」が確実に前進していることを実感しました。第2回実行委員会は3学期に予定しています。各中学校区ブロックでの今年度の取組を交流していただく予定です。委員の皆様ありがとうございました。



ありがとうございました

ご活用ください！「学校運営協議会の充実に向けて」



学校運営協議会の充実に向けて

令和6年10月 彦根市教育委員会事務局生涯学習課

昨年10月に、「学校運営協議会の充実に向けて」という資料を各校にお渡ししています。協議会〈開催前・会議中・開催後〉におけるポイントを示していますので、今年度も引き続きご活用ください！

学校運営協議会 <開催前>

- 学校と会長・副会長・地域学校協働活動推進員が事前に必ず打ち合わせをして、会議の方向性を確認しましょう。
- 学校評価も「熟議」のテーマにそった項目についてのみ示すなど、配布資料に工夫をしましょう。
- 新しく作成するばかりではなく、配布した資料も有効活用しましょう。
(保護者へのチラシや、学校だよりなど)
- 時間配分は適正か、「熟議」の時間の確保ができていないか、確認しましょう。
(60分で設定されていた協議会では、「熟議」の時間が足りないといった声も聞かれました。90分程度が望ましいです。)
- 児童生徒の意見や委員以外の教職員の意見も反映できないか考えてみましょう。
(生徒が参加して一緒に話し合う、当事者の参加や教職員から事前に意見を聞いておくなど)
- 話し合いのテーマによっては、委員以外の教職員の参加も検討しましょう。
- 「いつもの会議室」ばかりでなく、必要に応じた会場を設定しましょう。
(実際に活動が行われている部屋やアクティブラーニング教室など)
- 連絡を取りやすくするため、連絡の方法やweb参加も可能にできるよう開催方法も検討しましょう。



学校運営協議会 <会議中>

- すべての委員が当事者意識をもって「熟議」に参加できるよう、協議会の進め方などを工夫しましょう。
(例：少人数でのグループワーク、付箋を活用したKJ法など)
- 地域の委員に協議会の役割を委ねていきましょう。
(例：「協議事項」や「熟議」の進行は会長が行う、グループワークのリーダー、ホワイトボードにまとめてもらうなど)
- 「熟議」のテーマや学校教育目標、目指す子ども像など協議会を進めるにあたって中心となる部分は、委員が意識できるように工夫をしましょう。
(視覚的に訴えるような掲示物の工夫、資料の配布、会の最初の再確認など)
- 「熟議」の時間が充実に、教職員が進行役をサポートしましょう。
- 視聴覚機器を有効に使って、会議を効率よく進めましょう。
- 出された意見や内容は、委員で共有できるように工夫しましょう。
(黒板やホワイトボード、視聴覚機器の有効活用)



学校運営協議会 <開催後>

- 協議会で話し合われたことなどは、委員以外の教職員にも共有しましょう。
- 欠席された委員にも協議会の内容を共有しましょう。
- 協議会で議論した内容をもとに、できることから具体的な地域学校協働活動につなげられるよう、地域学校協働活動推進員と連携していきましょう。
- 協議会の様子や具現化したことは、ホームページなどで地域に積極的に発信し、活動の輪を広げていきましょう。

「地域とともにある学校づくり」

「学校を核とした地域づくり」

学校

地域



「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」を目指しましょう！